

減量・休薬・中止基準

ザルトラップの投与により副作用が発現した場合には、以下の基準を参考にザルトラップを減量・休薬・中止してください。

発現した副作用	減量・休薬・中止																																	
好中球減少	1,500/mm ³ 以上に回復するまで休薬する。																																	
血小板減少	75,000/mm ³ 以上に回復するまで休薬する。																																	
高血圧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>程度</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Grade 2の場合</td> <td>投与を継続し、降圧剤による治療を行う。</td> </tr> <tr> <td>Grade 3の場合</td> <td> 150/100mmHg (高血圧を合併する場合は収縮期血圧180mmHg) 以下に回復するまで休薬し、降圧剤による治療を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2週間以内に回復した場合 <ul style="list-style-type: none"> －1回目：減量せず投与する。 －2回目：2mg/kgに減量する。 ・2週間を超え4週間以内に回復した場合、2mg/kgに減量する。 ・4週間以内に回復しない場合及び2mg/kgに減量しても再発した場合、投与を中止する。 </td> </tr> <tr> <td>Grade 4又は高血圧に伴う臓器障害が認められた場合</td> <td>投与を中止する。</td> </tr> </tbody> </table>	程度	処置	Grade 2の場合	投与を継続し、降圧剤による治療を行う。	Grade 3の場合	150/100mmHg (高血圧を合併する場合は収縮期血圧180mmHg) 以下に回復するまで休薬し、降圧剤による治療を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2週間以内に回復した場合 <ul style="list-style-type: none"> －1回目：減量せず投与する。 －2回目：2mg/kgに減量する。 ・2週間を超え4週間以内に回復した場合、2mg/kgに減量する。 ・4週間以内に回復しない場合及び2mg/kgに減量しても再発した場合、投与を中止する。 	Grade 4又は高血圧に伴う臓器障害が認められた場合	投与を中止する。																									
程度	処置																																	
Grade 2の場合	投与を継続し、降圧剤による治療を行う。																																	
Grade 3の場合	150/100mmHg (高血圧を合併する場合は収縮期血圧180mmHg) 以下に回復するまで休薬し、降圧剤による治療を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2週間以内に回復した場合 <ul style="list-style-type: none"> －1回目：減量せず投与する。 －2回目：2mg/kgに減量する。 ・2週間を超え4週間以内に回復した場合、2mg/kgに減量する。 ・4週間以内に回復しない場合及び2mg/kgに減量しても再発した場合、投与を中止する。 																																	
Grade 4又は高血圧に伴う臓器障害が認められた場合	投与を中止する。																																	
蛋白尿	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">程度</th> <th colspan="4">処置</th> </tr> <tr> <th>今回の投与</th> <th>今回投与後の尿蛋白量 (最高値)</th> <th>次回の投与 (投与直近値で判断)</th> <th>次々回の投与 (投与直近値で判断)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1<UPCR≤2で、血尿が認められない場合</td> <td rowspan="2">投与を継続する。</td> <td rowspan="2"><3.5g/日</td> <td>≤2g/日：投与を継続する。</td> <td>≤2g/日： 2mg/kgに減量する。</td> </tr> <tr> <td>>2g/日：休薬する。</td> <td>>2g/日： 投与を中止する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1<UPCR≤2で、血尿が認められる場合 ・UPCR>2の場合</td> <td rowspan="2">休薬する。</td> <td rowspan="2">≥3.5g/日</td> <td>≤2g/日：2mg/kgに減量する。</td> <td>≤2g/日： 2mg/kgに減量する。</td> </tr> <tr> <td>>2g/日かつ ≤3.5g/日： 休薬する。</td> <td>>2g/日： 投与を中止する。</td> </tr> <tr> <td>2mg/kgに減量しても再発した場合</td> <td></td> <td></td> <td>>3.5g/日：投与を中止する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネフローゼ症候群 血栓性微小血管症</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>投与を中止する。</td> </tr> </tbody> </table>	程度	処置				今回の投与	今回投与後の尿蛋白量 (最高値)	次回の投与 (投与直近値で判断)	次々回の投与 (投与直近値で判断)	1<UPCR≤2で、血尿が認められない場合	投与を継続する。	<3.5g/日	≤2g/日：投与を継続する。	≤2g/日： 2mg/kgに減量する。	>2g/日：休薬する。	>2g/日： 投与を中止する。	1<UPCR≤2で、血尿が認められる場合 ・UPCR>2の場合	休薬する。	≥3.5g/日	≤2g/日：2mg/kgに減量する。	≤2g/日： 2mg/kgに減量する。	>2g/日かつ ≤3.5g/日： 休薬する。	>2g/日： 投与を中止する。	2mg/kgに減量しても再発した場合			>3.5g/日：投与を中止する。		ネフローゼ症候群 血栓性微小血管症				投与を中止する。
程度	処置																																	
	今回の投与	今回投与後の尿蛋白量 (最高値)	次回の投与 (投与直近値で判断)	次々回の投与 (投与直近値で判断)																														
1<UPCR≤2で、血尿が認められない場合	投与を継続する。	<3.5g/日	≤2g/日：投与を継続する。	≤2g/日： 2mg/kgに減量する。																														
			>2g/日：休薬する。	>2g/日： 投与を中止する。																														
1<UPCR≤2で、血尿が認められる場合 ・UPCR>2の場合	休薬する。	≥3.5g/日	≤2g/日：2mg/kgに減量する。	≤2g/日： 2mg/kgに減量する。																														
			>2g/日かつ ≤3.5g/日： 休薬する。	>2g/日： 投与を中止する。																														
2mg/kgに減量しても再発した場合			>3.5g/日：投与を中止する。																															
ネフローゼ症候群 血栓性微小血管症				投与を中止する。																														
Infusion reaction	<ul style="list-style-type: none"> 軽度及び中等度 ⇒ 直ちに投与を中断し、回復した場合、投与を再開する。 重度 ⇒ 直ちに投与を中止する。 																																	

投与期間中の留意点

腎臓に異常を認める場合は、投与を中止する。

投与開始後、血圧が急激に上昇する場合は、投与を中止する。

投与開始後、血尿が認められる場合は、投与を中止する。

投与開始後、好中球減少や血小板減少が認められる場合は、投与を中止する。